



WebDoJapan Co.,Ltd.

平成 20 年 5 月 8 日

各位

東京都千代田区二番町 5 番地 1  
 株式会社ウェブドゥジャパン  
 (コード番号：2138 大証ヘラクレス)  
 代表取締役社長 小渕 宏二  
 問合わせ先：取締役経営管理部長 櫻井 英哉  
 TEL：03-3511-5891

株式会社ウェブドゥジャパン(連結)  
 2008年度3月期 決算ハイライト  
 売上高：4,193 百万円 (前年同期比：1.20 倍)  
 ～モバイル事業が前年同期比：1.31 倍の成長～

## 2008 年 3 月期 連結決算概要

単位:百万円	前年同期(非連結)		2008年3月期		前年同期比	2008年3月期	達成率	
	金額	構成比	金額	構成比		業績予想		
						金額		
売上高	3,494	100.0%	4,193	100.0%	120.0%	3,900	107.5%	
売上高 内訳	モバイル事業	1,626	46.5%	2,138	51.0%	131.5%	-	-
	モバイルメディア	574	-	1,006	-	175.2%	-	-
	モバイルコンテンツ	1,051	-	1,132	-	107.6%	-	-
	人材事業	1,867	53.5%	2,054	49.0%	110.0%	-	-
売上総利益	1,101	31.5%	1,462	34.9%	132.7%	-	-	
営業利益	294	8.4%	318	7.6%	108.1%	350	90.9%	
経常利益	274	7.8%	319	7.6%	116.7%	350	91.4%	
当期純利益	160	4.6%	166	4.0%	103.8%	200	83.2%	

(注)当社は2007年10月より連結決算を採用している為、前年の単体の数字を参考として記載しております。

## トピックス

\* 当社グループ連結売上高は **4,193 百万円** となり前年同期比：**1.20 倍**と成長加速。

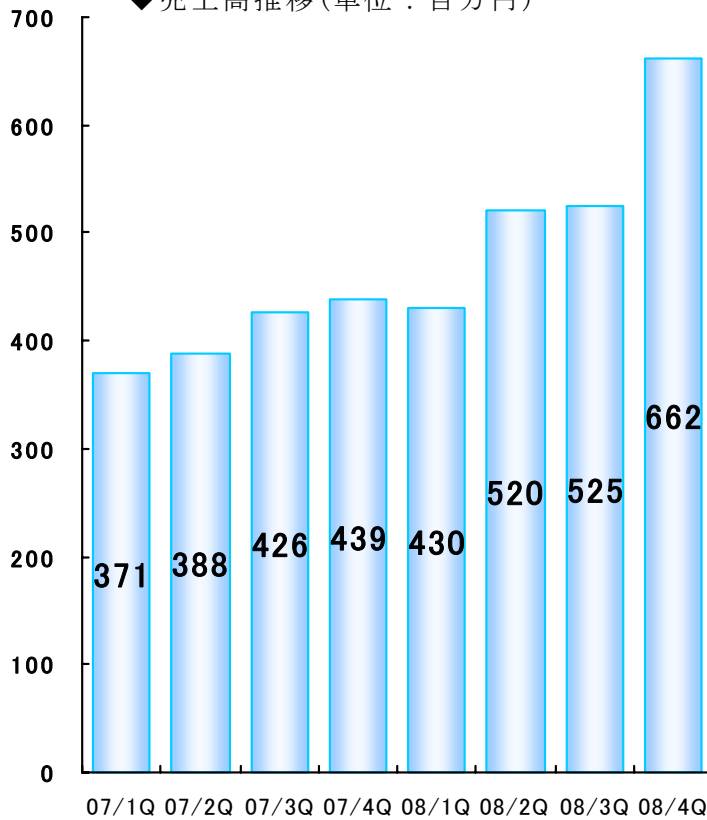
\* 主力事業のモバイル事業は前年同期比：**1.31 倍**の **2,138 百万円** となり、当社証券コードの 2138 と同じ数字で着地。

\* 広告配信や無料メディアの運営を行うモバイルメディアの売上高は **1,006 百万円** となり前年同期比：**1.75 倍**と全社の売上増を牽引。

\* 新規モバイルコンテンツを年間計 **12 サイト** 投入した効果が 4Q に現れ始める。  
 2009 年 3 月期も同様に積極的な投資を行い事業規模の拡大をさせる方針。

【参考資料：モバイル事業 経営成績推移】

◆売上高推移(単位：百万円)



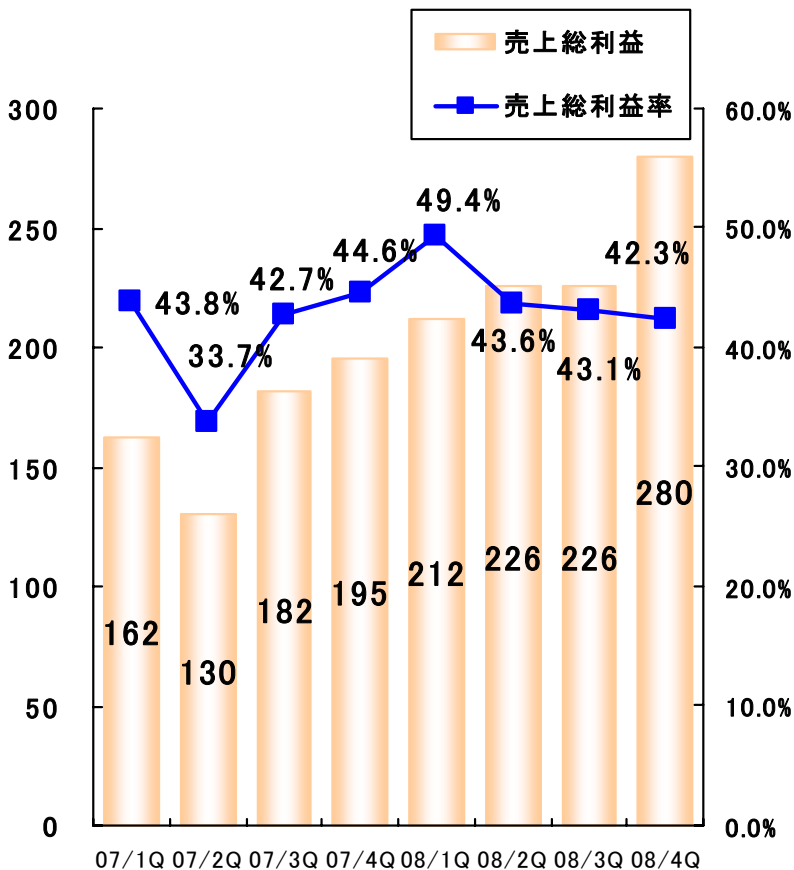
通期売上高内訳

- ・モバイルメディア  
1,006 百万円
- ・モバイルコンテンツ  
1,132 百万円

\*売上高について

- ・モバイル広告は前年同期比 1.75 倍の 1,006 百万円に成長。
- ・モバイルコンテンツは 4Q に売上高が伸び新規コンテンツ投入の成果が現れ始めた。

◆売上総利益推移(単位：百万円)



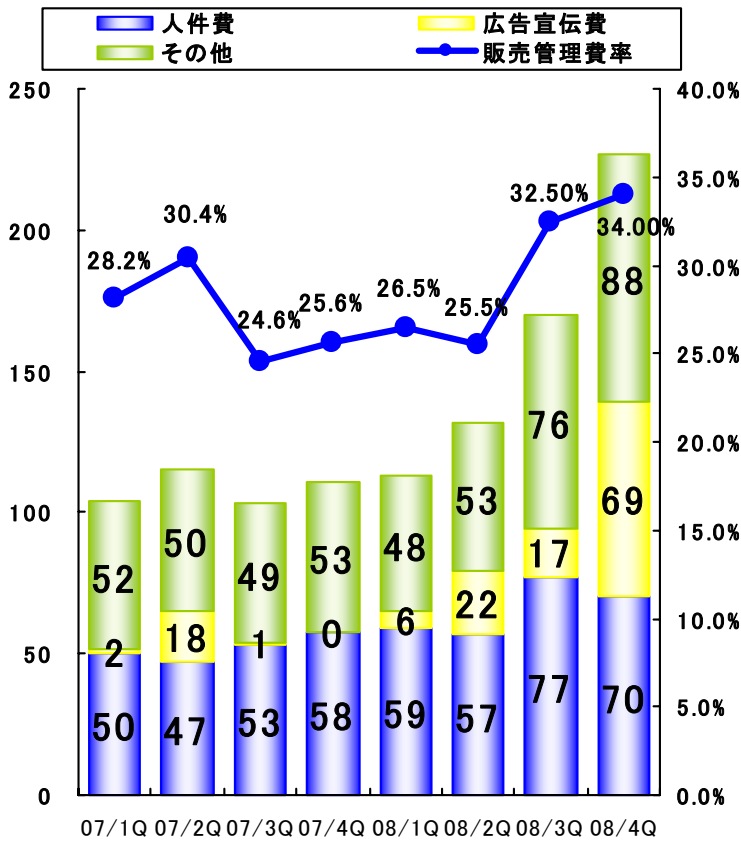
通期売上総利益内訳

- ・モバイルメディア  
258 百万円
- ・モバイルコンテンツ  
688 百万円

\*売上総利益について

- ・売上総利益は年間で 947 百万円となり前年同期比：1.4 倍。

◆販売管理費推移(単位：百万円)



通期販売管理費

644 百万円

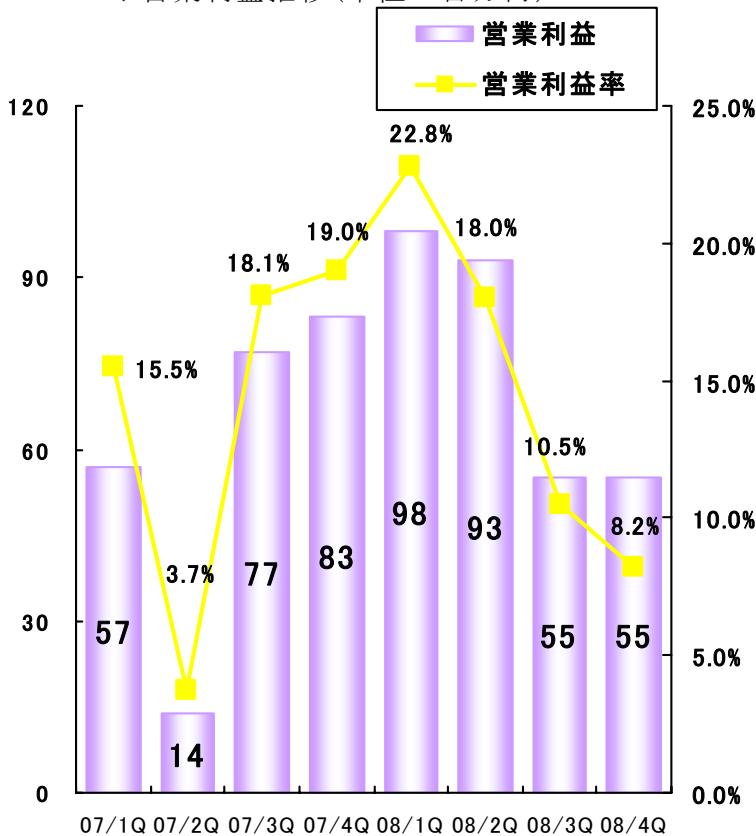
\*販売管理費について

・07年10月より開始した連結決算に伴い3Qより共通費の配賦率が増加。

・4Qには新規モバイルコンテンツへ戦略的に69百万円の広告宣伝費を投下し事業規模拡大を図る。4Qには新規コンテンツの売上が伸びた事に比例し、回収代行手数料\*が増加した為、「その他」の部分も増加。

\*モバイルコンテンツの代金をキャリアが代行して回収する事に伴う手数料のこと

◆営業利益推移(単位：百万円)



通期営業利益内訳

・モバイルメディア

93 百万円

・モバイルコンテンツ

208 百万円

\*営業利益について

戦略的な広告宣伝費投下により営業利益率は低下しているが、事業規模の拡大の実現が来期以降の収益力の向上につながると考え2009年3月期も投資活動は継続する方針。

## 2009年3月期業績予想

(百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
通期	5,000 (19.2%)	250 (△21.4%)	250 (△21.8%)	144 (△13.5%)

\*モバイルサービス市場はハードウェアの進化に伴うソフトウェアの質の向上によって、新たな市場拡大フェーズに入っており、当社にとってこれまでにないチャンスが到来しています。

\*この好機を逃さないためにも、2009年3月期は、当社モバイル事業の**成長スピードを最大化させる**事が最重要であると考えております。

\*これまでの成長を更に加速させるために、今期については、敢えて戦略的に**広告宣伝費を投下**し、課金コンテンツの**会員獲得数を最大化**し、自社メディアの**媒体価値を最大化**する戦略としております。

\*今期業績につきましては、広告宣伝費の投下により営業利益は約20%減るものの売上高は約20%の増収となると見込んでおります。

\*当社としましては、今期の戦略的投資が、**来期以降の持続的な利益成長**に貢献するものと考えております。あくまでも今期は**投資の時期**と位置づけているという事をご理解いただきたく存じます。

本資料は、2008年3月期決算概要に関する資料の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り、2008年5月8日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後、予告なしに変更されることがあります。